

春の叙勲

地元活性化へ小麦栽培

旭日章

(元農事組合法人八幡宮農組

合代表理事)

菅原 安勇さん(77)

加古川市八幡町下村



県内初の大規模な集落営農組織として、2005年に加古川市八幡町の6集落による

農事組合法人八幡宮農組を設立。担い手不足で休耕田が増える中、代表理事として、生産から販売までを手掛ける「6次産業化」などを図ってきた。

10年には、パスタ向けの品種として開発された国産テュラム小麦「セトデュール」の栽培に着手。肥料を与える時期などを試行錯誤し、16年に

「加古川パスタ」として乾麺を商品化した。

麦の香り高さやもちりとした食感が好評で、レストランのメニューにも使われている。

「農業で地域を活性化したかった。(受章は)支えてくれた多くの方々のおかげです」と笑顔を見せた。

(斉藤正志)